

テーマ⑤ 「安全・安心に関すること」

見えてきた課題	・災害時の避難に関する情報共有 ・災害時の安否確認 ・登下校見守り隊のボランティア不足 など
  	
主な取組内容	・災害時の連絡体制 ・災害への備え ・犯罪の防止 など

地域として取り組んでいくこと

短期目標	すぐに取り組みを進めていくもの
・日常からご近所とは、仲良くなっておく。（向う3軒両隣はとくに。） ・災害時に「大丈夫です！」と一目でわかるようなシール、マグネット、旗の作成 →活用しやすい方法で ・避難所でのコミュニケーションボード（※9）を活用（障がい者や子どものために） ・防災訓練の充実と継続（新東淀中学校・北陽高校と連携等） ・避難場所（新庄小学校・北陽高校）の周知徹底 ・自助力の向上（地震に対する備え） ・防犯カメラ・防犯灯の位置を把握し周知する ・小中学生の見守りボランティア活動の交代制と増員	
中期目標	段階的に準備を進めながら取り組むもの
・避難所に段ボールベッドの配置 ・小さい単位（町会）で訓練 ・水害時の高層マンションや施設の協力依頼 ・救急カプセル（※10）の普及 ・防災リーダーの増員（2人→3人）と若返り	
長期目標	将来的に取り組むもの
・ヘルプカード（名前や血液型、特徴を記したもの）を作成し、常時携帯 ・避難所開設訓練に全員参加（訓練の参加により避難所のイメージを事前に把握） ・備蓄倉庫を増やす ・避難場所の新規確保と周知	

※9…障がいのある方や外国人など、話し言葉によるコミュニケーションが困難な方に対して、分かりやすいイラストを指でさしながら意思を伝えることができるツール。

※10…自宅で具合が悪くなり救急搬送時に必要なかかりつけ病院や持病などの情報を記した「救急情報カード」をペットボトルなどで作成したカプセルに入れ、冷蔵庫に保管することで、救急隊に必要な情報が伝わるための取り組み。

参加者の声（ワークショップ参加者の感想）

地域住民のアンケートや有志（各町会）によるワークショップにより出てきた地域課題について、今後の方向づけがされ、地域活動に目標ができたことは有意義なことと思います。

課題や要因の話し合いから具体的対応まで深い話し合いが出来たのは新庄地域ならではの取り組みであった。各テーマも交差しあう意見を認めていることも注目すべき点であった。

無形ながら、仕上がりました。これからが肉付と型作りです。皆で作り上げよう。

向こう三軒両隣のお付き合い。

多数の防犯ビデオの設置が犯罪の抑制・防止になると思います。

初対面の方々とチームを組んで、緊張しながらも中身の濃いワークショップが出来ました。楽しい時間でした。

いつも参加することは出来なかったけど、各地域の方が熱心に自分達の住んでいる所の安全や不安なことを話されている姿をみて心強く思いました。

少しでも地域がよくなるように反映されるように活かされればと思います。

どのテーマも課題が多く、今後、取り組みにあたり優先順位をつけ、総力で当たる必要があるのでは。計画を発表し冊子にするだけでは…ただどこまで協力できるか。

テーマ別に他町会の人々と意見を出し合うのはとても意義があったと思います。各町会の困りごとがよく解りました。また、各人の取り組み方、意見等が具体的に熱心な姿勢に好感が持てました。最後はどんな風にまとまったのか早く見たいです。

ワークショップに参加させていただき、地域の方との交流ができたと共に、現在問題と思われる課題に対し、意見を述べさせていただいたことに感謝します。それらの皆様の意見が活かされ、より良いまちになるよう期待します。

約1年半の話し合いで導き出されたもの。それは新庄を良くしよう。地域を皆で支えていこう。この方向性が全員で一致し、お互い確認できたこと。今後は身近な事柄から実行に移していきたい。

ワークショップに参加し、皆様の多大な意見、発言に驚き、感動しました。素敵なお新庄地域になれるよう頑張りたいですね。

ワークショップ席上のあの熱気とシャープな意見をこれから地域に訴えていきたい。

短い期間でしたが、各グループの発表・意見交換の中で各自治会の取り組みを聞いて良かったと思う。



地域の様々な立場の人達と意見交換出来る機会をいただきありがとうございました。参加者の皆様方が新庄地域に深い愛着・思いを持っておられ、地域の課題解決に熱心に取り組む姿を目にすることができ、貴重な経験をさせていただきました。この策定された計画が一刻も早く実現されることを期待しています。

おわりに

あとがき

新庄地域保健計画の策定に向けて、学習会や計4回のワークショップ、計6回の策定会議を重ねてきました。ワークショップでは、たくさんの方が参加していただき、様々な観点から、普段感じていることや不安に思うこと、地域への要望など、たくさんのご意見を出していただき、たくさんの方が新庄地域を良くしようと考えていただきました。

今後は、この計画をもとに、地域活動を通してつながりや新たな喜びを見つけ出し、新庄地域がより住みやすいまちへ変貌していけたらと考えています。

皆の力で、住みやすく健康で気楽に暮らせる安全・安心な新庄をめざしましょう！



新庄地域保健福祉計画策定メンバー同

アドバイザーからのひとこと



梅花女子大学
准教授 綾部 貴子

新庄地域保健福祉計画の完成おめでとうございます。

この計画はこれからが本格的なスタートになります。地域目標「みんなが住みやすく 健康で気楽に暮らせる 安全・安心な 新庄」にむけて、新庄地域住民の皆さんや関係団体ができることから一緒に協力して取り組んでいくことが大切です。

この計画が新庄地域のさらなる活性化や発展につながっていく道標になることを期待しています。

新庄地域保健福祉計画策定メンバー

山本 幸一	前田 俊美	西田 眞喜	佐野 晃	西田 八郎	増田 安信
佐藤 弘	榎本 誠	佐藤 大郎	和田 浩明	樋崎 明子	神田 弘
浅井 美枝子	石原 豊明	勝矢 剛	小栗 一利	倉田 秀太郎	川鍋 秀夫
植原 孝廣	川鍋 邦子	中野 博人	澤山 仁子	福間 洋子	岡本 江美
猪田 一雄	田中 憲蔵	井上 清子	岡本 洋子	金沢 美代子	岩木 裕美
大西 勉	島田 孝男	玉山 明子	末續 美紀	菊池 幹子	行司 寿子
井上 彪	前田 由香	佐藤 悦子	福井 透	西井 慶子	檜垣 多美子
福元 幸子	他3名				(順不同)

令和元年12月発行

編集・発行 新庄地域活動協議会 新庄連合振興町会 新庄地域社会福祉協議会
協力 梅花女子大学 綾部貴子 東淀川区役所 東淀川区社会福祉協議会
東淀川区中部地域包括支援センター（びはーら）

みんなが住みやすく 健康で気楽に
暮らせる 安全・安心な新庄



【お問い合わせ先】

東淀川区上新庄2丁目7-9 新庄社福会館

新庄地域活動協議会

TEL・FAX : 06-6323-1156

MAIL : sinjo-network@circus.ocn.ne.jp

Facebook : <https://www.facebook.com/shinjo.tikatu/>

～ボランティアスタッフ募集～



「この時間なら手伝えるよ」「こんなことなら出来るよ」など、少しでも助けていただける方は、上記のお問合せ先までご連絡ください。

他にも「こんな特技があるよ」、「こんなことがしてみたい」、「どうしたらいいの?」という情報、要望や相談もお受けしています。